

北中学校だより

北風

(かえで)

令和7年1月14日(火)

第54号 東金市立北中学校

〒283-0803 東金市日吉台1-20

TEL 0475-50-2288

発行者：校長 久我 和廣

学校教育目標

創 【未来を拓く】

～輝く瞳，笑顔とあいさつ，光る汗～

めざす生徒像 「気づき 考え 行動する」生徒

- (1) 学び合い，高め合う生徒⇒輝く瞳・・・(知)
- (2) 認め合う，心豊かな生徒⇒笑顔とあいさつ・・・(徳)
- (3) 心身共に健康な，たくましい生徒⇒光る汗・・・(体)

めざす学校像

基本理念【ひとりの生徒を 粗末にしたとき 教育は その光を失う】

- (1) 学力向上に努める学校
- (2) あいさつと歌声が響く学校
- (3) 安全で安心してすごせる学校
- (4) 清潔で花いっぱい学校
- (5) 地域とともに歩み，信頼される学校



令和6年度3学期始業式にて

1月6日(月)体育館にて、3学期の始業式が行われました。私からは、「一日一生日々元旦」という言葉を生徒達に紹介しました。一日一生は、一日一日を今日限りの命と覚悟して真剣に生きる。その連続が充実した一生につながるという意味で、朝起きて、「あれをしよう」、「これをしよう」とスケジュールを立ててその日を精一杯頑張り、夜になって「ああ、いい一日だった」と満足して休む。そんな生活が続けばどんなに素晴らしい人生になるだろうか。また、新しい年を迎える元旦は、普段の朝とは異なって格別な気分になります。「よし、やるぞ!」とひそかに心に誓う。毎朝、元旦のような気持ちで迎えたなら、どんな一年になるだろうか。時間は無限にあるわけではなく、限られたものだからこそ、大切にしてほしいということ。一日一日を大切に充実した生活を送るように伝えさせていただきました。また、各学年代表による「3学期に向けて」を下記に掲載させていただきましたので、話題としてあげていただければ幸いです。

1学年代表 1組 平山 琉生

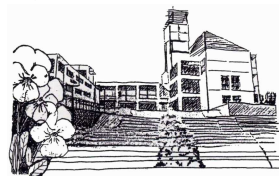
2025年を気持ちよく過ごすために、僕は三つのことを頑張りたいと考えています。

一つ目は勉強です。授業はもちろんですが、今まで特に定期テストの勉強に力を入れて学習をしてきました。テスト期間には、事前に学習計画を立てて実行したり、ゲームなどの誘惑に負けないよう努力したりしました。しかし、11月の定期テストでは、前回よりも良い結果を出すことができませんでした。だから、1年生最後の定期テストである3学期の期末テストでは、1年を通して1番良い成績が残せるよう今まで以上に頑張りたいです。また、2年生になって、1年生で学習した分野で分からない部分がないよう、1年間の復習にも力を入れていきたいです。

二つ目は、部活動です。僕は卓球部に所属しています。2学期では、試合で勝つという経験をし、自分に自信をつけることができました。3学期は、大会で一つでも多く勝ちたいです。そのために、部活動で無駄な時間を作らず、1回でも多く球を打ち、自分の苦手なところを改善していきたいです。先日、自分が部活動を引退するまでの期間を数えたとき、あと1年半しかないという事実に驚きました。「まだ1年生だから」という言い訳をせず、引退するときにもっと頑張っておけばよかったという悔いが残らないように、今から練習に励みたいです。

三つ目は、自分らしい自分になることです。僕は、人見知りの性格で、自分から話しかけることがあまり得意ではありません。実際、クラスメイトの半分以上が小学校からの知り合いということに大分助けられていると思います。人見知りを改善するために、1年間、自分から積極的に話しかけたり、一度も話したことの無い人に話しかけたりするなどの試みをしました。やっぱり人に話しかけるときは緊張するし、この話し方でいいのかなと不安にもなりました。そこでもう一度自分と向き合いました。僕の人見知りの性格は、僕の個性であり、無理して自分の個性を消さなくても良いのではないかと思います。これからは自分の負担にならないように頑張りたいです。

3学期は1年間の集大成です。三つの頑張りたいこと以外にも、自分にできることに率先して取り組んで、自分らしく成長する3学期にしたいです。



2 学年代表 2 組 都築 怜雅

私たち 2 学年は、2 学期の行事をとおして学んだ点が二つあります。

一つ目は、楓祭をとおして全員で一つのことに意識を向けて取り組むことができたことです。また、日々の積み重ねからその場にあった行動や周りを見て、考える力を身に付けることができました。

二つ目は社会体験学習です。社会体験学習で身にしみて感じたことは、どんな職業でも共通していえることは、あいさつや時間を守ることなどの基本的な生活習慣が大切で学校生活で大切なことは社会でも必ず必要とされるということです。学校生活で大切と言われていることは同じでした。2 日間という短い時間ではありましたが、あいさつや返事などの当たり前のことを当たり前にする大切さをあらためて実感できました。

3 学期は、この 2 学期で培った「周りを見て考え行動する力」「当たり前のことを当たり前にできる」の二つを学年として徹底していきたいです。また、この年度内にしたいこともあります。それは学年目標である「他者理解」を全員で意識して取り組んでいくことです。「他社理解」とは、自分とは異なる価値観などをもつ人の立場に立って考え、相手の感情や意図を理解することです。これを全員で意識していくためには、自分だけの視点だけで考えず自己中心的な考えを無くして、相手の視点から物事を見る力が必要です。この 2 学年ならできると私は思っています。

3 学期は、締めくくりの学期でもあり、3 年生になるための準備の学期でもあります。一人一人が 3 年生になるという自覚を持ち、良い先輩になりたいです。

3 学年代表 2 組 戸田 憲伸

みなさんおはようございます。年が明け、新たな気持ちで 3 学期をスタートしているでしょうか。

3 学期は 3 年生にとって大事なことが二つあります。それは受験と卒業です。

まず立ち上がるのは受験です。私立受験までは残り 11 日。公立受験は 43 日と時間が迫っています。私たちは受験を悔いなくやり遂げようと日々努力をしています。正直なかなか勉強が続かなかったり、途中で投げ出してしまったりしていたことも多くありました。3 学期からは全員で心を入れかえ全力で受験に臨んでいきたいです。そして、一人一人が自分の目指している進路に合格できることを望んでいます。そのため、最後まで諦めずに頑張っていきましょう。そして、受験を終えるといよいよ卒業です。今まで、気づいたら動く、できることはやる。自分のことも他人のことも大切にするという 3 つを目標にし、行動してきましたが、あいさつなどがなかなか身につかず最上級生としての自覚があるとは思えませんでした。しかし、少しでも改善しようとする人が増えていると思います。3 学期もあいさつなどをより向上させ、最上級生として良い形で後輩にバトンをつなげるように頑張りましょう。

私たちは、卒業すると義務教育を終え一人一人がそれぞれの自分の選んだ路（みち）に進みます。最後まで本気で取り組み、自分の進路を切り拓いていきましょう。

学校だより第 50 号の訂正について

12 月 19 日発行の学校だより第 50 号に掲載した表彰の受賞記録に誤りがありましたので、訂正させていただきます。

【献血推進啓発ポスター展】

中学生の部

(誤) 千葉県健康福祉部長賞 → (正) 千葉県赤十字血液センター所長賞

遠山聖莉奈 (1 年 1 組)

(誤) 千葉県赤十字血液センター所長賞 → (正) 千葉県健康福祉部長賞

金谷 美咲 (3 年 2 組)

大変申し訳ありませんでした。